



4-1 ミッション

～団体活動の羅針盤をもとう～

キーワード ・ ミッション ・ 使命 ・ ビジョン

●このテーマで目指すゴール

- ・ ミッションの役割を理解する
- ・ 団体のミッションを書く
- ・ ミッションに基づいた行動をする

患者さんからの質問

患者団体の活動計画を立てる時に、メンバーごとに意見の方向性が異なって困ることがあります。

●ミッションとは

「あなたの団体は何のための活動をしているのですか。」と質問された時に、即答できるでしょうか。

即答できる団体はおそらくミッションを掲げて活動している団体でしょう。短い言葉で明瞭に答えられなかった場合は、団体のミッションが明確に書かれていない団体かもしれません。

ミッションとは「使命」と訳されることが多く、その団体の果たすべき社会的使命、言い換えると社会での存在意義と捉えることができます。ビジョンという言葉も聞いたことがある人も多いかと思います。ビジョンは「社会に実現したいあるべき姿」、ミッションは「それを達成するための団体の使命」と理解していいでしょう。

ここで気を付けたいのは、ミッションは活動目標とは異なるということです。例えばコーヒーショップ・スターバックスのミッションは、「人々の心を豊かに活力のあるものにするために～ひとりのお客様、一杯のコーヒー、そしてひとつのコミュニティから～」です。目標は、営利企業ですから売上高や顧客数になるはずですが、ミッションは目標とは違うということは企業でも社会活動をする団体でも同じですので、正しく理解しておきましょう。

いくつかの団体の例を表 1 にご紹介します。団体により、ビジョンとミッション両方を掲げる団体、ビジョンを含むミッションを掲げている団体、ミッションのみの団体とまちまちです。この記載に決まりはありません。患者団体を含む社会活動の団体においては、団体の社会的存在意義と役割を明確にするため、団体のメンバー同士の意思疎通をはかるためにも、ミッションを明確にしておきたいものです。

●ミッションは団体活動の羅針盤

患者団体を含む社会活動の団体の一員としては、「私たちの団体のミッションは〇〇です。このミッションのもと、〇〇（目標）を目指して〇〇（活動）をしています。」と常に言える状態であることが望ましいです。これは、団体の幹部だけでなく、参加しているメンバー全員に言えることです。

事業計画を立てるときはもちろんですが、活動の進捗が思うにならないとき、仲間同士意見が割れるときなどの岐路に立ったときには、ミッションに立ち返りましょう。必ず何か解決の糸口が見えてくるはずですよ。

また、団体の活動方針や活動内容に違和感があるメンバーがいた場合は、共にミッションを読み返してみましょ。団体の活動がミッションから外れていたら、メンバー同士で軌道修正の検討をすべきです。もし活動が適切に見えるのにミッションにマッチしていなかったら、ミッションを修正すべきときかもしれません。また、新しい分野に進出する際にも、「機会がある」「やれそうだ」というだけでなく、団体のミッションと合致しているかを確認しましょう。

●ミッションの作り方

団体の内外に社会的存在意義を伝える言葉として、明瞭に書くことが求められます。上記で説明したミッションの意義と役割をよく念頭においた上で、作ってみましょ。

仮の案ができたなら、団体に関わる複数の人で議論してみましょ。様々な角度からその案を読んで、日本語として間違いがないか、誤解が生じない表現になっているかなどを詳細に確認し合い、自分たちの団体の使命が明確に正しく伝わるかの確認をしましょ。

複数の人で時間をかけてミッションを議論することで、間違いなく良いものになります。忙しい人たちが集まることは大変だと思いますが、ここはじっくり時間をかけたいいものです。

また、ミッションは時代の変化と共に変わる可能性があります。自分たちの使命は達成した、と感じた場合は、ミッションの改訂時期です。こう感じたということは、自分たちの活動が社会的に功を奏した、という素晴らしいことです。前向きに、これから先に必要な社会的使命を団体のみなさんで検討してみましょ。

患者団体を含む社会活動の団体であれば、社会的使命があるからこそ団体があるわけですよ。もし次のミッションがなかなか決まらず無理矢理作るようなことになったら、それは社会のためではなく、団体継続のためと言わざるを得ません。その場合は、本当にこの団体は必要か、と考える勇気を持つことも重要です。

＜表1＞非営利団体が掲げているミッションの例

■セーブ・ザ・チルドレン (NGO)

ビジョン： セーブ・ザ・チルドレンは、すべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現されている世界を目指します。

ミッション： セーブ・ザ・チルドレンは、世界中で、子どもたちとの向き合い方に画期的な変化を起こし、子どもたちの生活に迅速かつ永続的な変化をもたらします。

■特定非営利活動法人 NPO カタリバ

ミッション： 生き抜く力を、子ども・若者へ

■特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク

ミッション： 音楽によるコミュニティの活性化——音楽により、多くの人々の心に豊かな時間を提供する

Arts in Community——音楽が広げる人間の輪

■特定非営利活動法人パンキャンジヤパン

(Pancreatic Cancer Action Network : 膵臓がんアクションネットワーク)

ミッション： 3つの使命があります。

- ①研究促進：早期発見、治療につながる研究を促進するために研究者・医療者を支援すること。
- ②患者・家族支援：治療に立ち向かう患者・家族をサポートすること。
- ③希望を創る：草の根運動と政策提言活動を通して希望を与えること。

(注)「理念」「目的」という言葉で、ミッションと同じ役割をする文章を掲げている団体もあります。

◇ さらに詳しく知りたい方のために

坂本 恒夫、丹野 安子『ミッションから見たNPO』文真堂、2012年